

日语专业系列教材

Japanese

Reading

2

日语泛读教程

总主编 陈俊森

主编 赵刚



高等教育出版社

Higher Education Press

日 语 专 业 系 列 教 材

Japanese

Reading

日语泛读教程

2

总主编 陈俊森

主 编 赵 刚

编 者 赵蔚青 小出涌三 城田润二
范小川 张文丽 矢满田智康



高等教育出版社
Higher Education Press

图书在版编目(CIP)数据

日语泛读教程. 2 / 陈俊森总主编; 赵刚分册主编.
北京: 高等教育出版社, 2004.9
ISBN 7-04-015545-1

I.日... II.①陈...②赵... III.日语—阅读教学—教材 IV.H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2004)第084343号

策划编辑 祝大鸣 陈 薇 责任编辑 李 炎 封面设计 于文燕
版式设计 孙 伟 责任校对 李 炎 责任印制 陈伟光

出版发行 高等教育出版社
社 址 北京市西城区德外大街4号
邮政编码 100011
总 机 010-58581000

购书热线 010-64054588
免费咨询 800-810-0598
网 址 <http://www.hep.edu.cn>
<http://www.hep.com.cn>

经 销 新华书店北京发行所
印 刷 涿州市星河印刷有限公司

开 本 850×1168 1/16
印 张 12
字 数 210 000

版 次 2004年9月第1版
印 次 2004年9月第1次印刷
定 价 19.80元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号: 15545-00

前 言

一、编写背景

近年来，我国高等院校日语专业的规模得到了很大发展，据教育部截止到2003年的统计，开设日语专业的学校已达251所，最近还有不断上升的趋势。日语专业的教材建设问题一直是日语界，特别是日语教师关注的一个重要问题。其中泛读课与报刊选读课是日语专业教学大纲规定的主要课程之一，也是各个院校多年来开设的基础课程。但是，长期以来，各院校有的是自己编写教材，有的选用市面上出售的各种日语读物作为替代物，也有的教师使用临时选编的材料发给学生，至今没有一套为大多数院校选用并且得到肯定的泛读教材。很多担任泛读课教学的老师利用各种机会呼吁，希望集中力量编写一套符合中国大学日语专业泛读课教学规律、反映时代要求的泛读教材，以适应当前的教学改革形势。

为了进一步搞清日语专业泛读教学的现状，了解一线教师对泛读教材的希望与要求，我们于2003年12月借在河南师范大学举行日语教育国际会议的机会，对来自全国各高等院校的约60位老师进行了问卷调查，对各高等院校泛读课的现状以及对泛读教材的希望和要求等进行了深入调研。大多数老师认为，泛读教材应该具备“内容新颖”、“具有时代感”、“题材多样化”、“内容更加贴近生活”、“要有名家名篇”、“难易适中”、“要与精读教材明显区分”、“练习参考答案单独印刷”、“补充文化背景知识”等特点。

根据以上的现状与需求调查，充分考虑到全国日语专业的泛读课程现状，我们决定编写一套能够反映时代需求、适合国内日语专业教学、结构设计新颖实用、版式插图精美的泛读教材，以满足日语专业的教学需求。

二、教材构成

泛读课与报刊选读课的主要目的是：扩大学生的词汇量和知识面，让学生了解各种文体、各种内容的文章，为适应已经到来的信息社会的需要，教材中科普性文章应占有一定比例，还应使学生掌握最新国际时事及相关词汇，毕业后能尽快适应有关工作，同时还应使学生了解报刊语言特点等。

本教材的教学对象为日语专业2、3级的大学生。4册共需144~160学



时(周学时2, 可以使用4个学期; 周学时4, 可以使用两个学期)。每册由10课构成, 供36~40学时使用。各校可根据各自课程安排选用本教材的一部分或全套。

本套教材的选文题材广泛, 体裁多样, 既有反映时代脉搏的文章, 也有介绍传统文化的佳作; 既有年轻人感兴趣的话题, 也有思想内涵丰富的作品。

每课由3篇题材相关的短文组成。阅读文1包含有生词、注释、词语用法、表达与句型、练习等, 本部分为每课的主干。阅读文2和阅读文3是补充阅读材料, 供教师灵活掌握使用, 也可以供学生课后自学时使用, 两个阅读文后面都设有针对性很强的阅读练习。

除了正文以外, 每册还安排了两篇时文选读, 内容为反映当前世界、中国、日本所发生的最新信息与事件, 文章内容大多与日常生活、科技进步、时代发展有密切关系。通过阅读这些文章可以使学生了解和思考新概念、新问题的日语表达, 增加阅读的时效性和信息量。

各册教材安排了2个附录, 附录1为两套自测题。附录2为总词汇表、词语用法、表达与句型索引。

教材的难度第一册为初级向中级过渡的阶段, 以后逐步加大难度, 第四册为中级向高级过渡的阶段, 难度的发展比较平缓。

为了方便教学, 1~4册集中配备了一册《日语泛读教程教学参考书》合订本, 主要内容包括教学指导、背景知识、练习参考答案以及阅读文的译文等。

本套教材还可供各类中级日语学习者扩展日语知识、提高阅读分析能力使用。

三、致 谢

本套教材是在《新大学日语阅读与写作》(1~4册)的基础上改编而成的, 在此谨对参加过原教材编写的中日双方有关专家和相关人员以及协作单位表示衷心的感谢。本套教材是集体智慧的结晶。在此特别要感谢原大学外语教学指导委员会委员、日语组副组长、黑龙江大学田忠魁教授审读全稿; 顾明耀教授在百忙之中对设计思想、编写大纲以及编写过程中的细节问题都给予了细致的指导和无私的帮助。同时向本套教材的策划——高等教育出版社外语出版中心副主任祝大鸣先生、陈薇女士以及责任编辑李炎女士表示衷心的感谢, 这套教材的顺利出版也包含有他们的智慧和辛勤劳动的汗水。

我们相信本套教材会成为我国日语专业泛读课程的精品, 同时希望使用本教材的老师和同学提出批评意见, 以便我们不断修订完善。

编 者

2004年6月

郑重声明

高等教育出版社依法对本书享有专有出版权。任何未经许可的复制、销售行为均违反《中华人民共和国著作权法》，其行为人将承担相应的民事责任和行政责任，构成犯罪的，将被依法追究刑事责任。为了维护市场秩序，保护读者的合法权益，避免读者误用盗版书造成不良后果，我社将配合行政执法部门和司法机关对违法犯罪的单位和个人给予严厉打击。社会各界人士如发现上述侵权行为，希望及时举报，本社将奖励举报有功人员。

反盗版举报电话：(010) 58581897/58581896/58581879

传 真：(010) 82086060

E - mail：dd@hep.com.cn

通信地址：北京市西城区德外大街4号

高等教育出版社打击盗版办公室

邮 编：100011

购书请拨打电话：(010)64014089 64054601 64054588

目 录



第 1 課

- リーディング 1 電子メディアは道具である 1
言葉の使い方 5
表現と文型 6
練習問題 8
リーディング 2 インターネット 9
リーディング 3 インターネットで暮らしはどう変わるか 11
コラム 情報・電子系科学技術開発 13



第 2 課

- リーディング 1 分相応と分不相応 14
言葉の使い方 18
表現と文型 20
練習問題 22
リーディング 2 「若者文化」の落とし穴 24
リーディング 3 「自己実現」を長い目で考えよう 26
コラム 日本の大学 27



第 3 課

- リーディング 1 ことわざの誤解 29
言葉の使い方 33
表現と文型 34
練習問題 36
リーディング 2 ら抜き言葉 38
リーディング 3 カタカナの魅力 40
コラム 若者のキーワード 41



第4課

リーディング 1 コンビニ考 42

言葉の使い方 46

表現と文型 48

練習問題 49

リーディング 2 黄金週間 51

リーディング 3 在宅勤務 53

コラム コンビニエンス・ストア 55



第5課

リーディング 1 人形 56

言葉の使い方 60

表現と文型 61

練習問題 63

リーディング 2 富士 65

リーディング 3 現代青春論 67

コラム 日本のノーベル賞受賞者 68



第6課

リーディング 1 世界を歩く 70

言葉の使い方 74

表現と文型 75

練習問題 78

リーディング 2 ケータイの社会言語学 80

リーディング 3 ストレスなら切る勇気を 82

コラム ケータイによる電子メール 84



第7課

リーディング 1 水と緑と土 85

言葉の使い方 88

表現と文型 89



練習問題 92

リーディング 2 日本の経済発展と環境問題 93

リーディング 3 砂塵嵐と戦う北京 96

コラム 環境問題 97



第 8 課

リーディング 1 晩秋の中国で 98

言葉の使い方 102

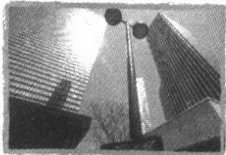
表現と文型 104

練習問題 106

リーディング 2 国を担う若者 108

リーディング 3 「楓橋夜泊」の寒山寺 110

コラム 中国と日本の歴史的・文化的関係 111



第 9 課

リーディング 1 21世紀への新しい道 113

言葉の使い方 116

表現と文型 117

練習問題 120

リーディング 2 創造的人間 122

リーディング 3 中国初! 有人宇宙船「神舟 5号」、打ち上げ&回収
に成功! 125

コラム 日本の宇宙・航空技術 127



第 10 課

リーディング 1 日本的コミュニケーションと人間関係 128

言葉の使い方 132

表現と文型 134

練習問題 136

リーディング 2 甘えの構造 138

リーディング 3 日本人の「二重人格」 141

コラム 日本人の国民性 142



時事文 1 143

時事文 2 147

附 录 1

模擬テスト 1 150

模擬テスト 2 162

附 录 2

単語索引 173

ことばの使い方索引 179

表現と文型索引 180

第1課

電子メディアは道具である

読みながら

1. 筆者が「電子メディアは道具である」と言っている意味を深く考えてみよう。
2. 「道具」「能率」「必要」という三つの言葉の意味をよく吟味して正しく捉えよう。

リーディング1

かばしま ただお
樺島 忠夫

インターネットだとか、Eメールだとかの言葉を、新聞や雑誌で毎日のように目にする。テレビを見ていても、番組の終わりあたりで、「WWW なんとか」を見る、などというメッセージが出る。いわゆる電子メディアの利用である。これに対して、人は様々な反応を見せる。

ある人は、自分はそんなものには関係がないと割り切って見向きもしない。

ある人は、それを使っていない自分を時代遅れのように思って、



なんとか使ってみたいが、自分には使えそうにないとあきらめ気分
分である。

ある人は、パソコンを買い込み、これらを使う練習をするが、利
用するまでにはいわずに、せっかく購入した機械は眠ったまま
5 になる。

もちろん、これらとは違って、自分の必要に応じてインター
ネットやEメールを駆使するようになる人もいる。

電子メディアに近づくことをしないでいるか、それを使いこな
すようになるかを決める要素には様々なものがあるだろうが、私
10 は、その一番大きな要素は、「利用する必要が発見できるかどう
か」だろうと思う。電子メディアは、はさみやペンチと同じく道具
だからである。

私は電子メディアを、必要に応じて道具として便利に利用して
きた。これによって得た利益は絶大である。しかし、私の周囲を見
15 渡すと、この「必要」を発見しそこねている人が多いようである。

インターネット、Eメールなどの電子メディアについて、自分は
そんなものには関係がないと割り切って見向きもしない人、それ
を使っていない自分を時代遅れのように思って、何とか使ってみ
20 たいが、自分には使えそうにないとあきらめ気分である人、パソ
コンを買い込み、これらを使う練習をしても利用するまでにはい
たらずに、せっかくの機械を眠ったままにしている人は、

◎ その人にとっては仕事の能率化が必要であるのに、電子メディ
アという道具を役立てる
必要や方法を発見するこ
25 とができないでいる人。

◎ 能率化することが
必要な仕事をまったく
持っていない人。

のどちらかであるように
30 思う。





電子メディアという道具を役立てる必要や方法を発見することができないでいる人には、電子メディアはこういう必要にこたえてくれる便利なものだということを認識することが必要であろう。しかし、電子メディアの使用に習熟した人に、「どんな必要に対して、5 どういうふうに役立つのか」ということを親切に解説してもらわなければ、自分で発見的に認識することは困難になっている。

私自身、Eメールは大いに利用しているが、インターネットを役立てる効用については、ほとんど認識していない。毎年、カナダで暮らす日々を持っているが、そのときに日本の新聞を読む程度10 である。むしろ、インターネットであちこち情報を探しまわり、信頼性が確かでない情報を興味本位で得るのは時間の無駄だという感じを持っている。

（『国文学』に掲載された「電子メディアは道具である」
の一節 2月臨時増刊号 2000 学燈社）

単語リスト

1. メディア ①	[名]	媒体
2. Eメール (イーメール) ③	[名]	电子邮件
3. いわゆる ③	[连体]	所谓
4. メッセージ ①	[名]	口信, 留言, 通知; 声明, 宣言, 致辞
5. 割り切る (わりきる) ③	[他五]	断然下结论
6. 見向き (みむき) ②	[名]	关注, 理睬; 转头看, 回顾
7. これら ②	[代]	这些
8. 至る (いたる) ②	[自五]	至, 到(某地方); 达, 及, 到达(某时间、状态等)
9. 購入 (こうにゅう) ①	[名・他サ]	买入, 购进, 采购
10. 駆使 (くし) ①	[名・他サ]	运用; 驱使
11. 近づく (ちかづく) ③	[自五]	靠近, 迫近, 临近; 接近,



12. 使いこなす (つかいこなす) ⑤	[他五]	亲近 运用自如, 熟练掌握
13. はさみ ③	[名]	剪刀, 剪子
14. ペンチ ①	[名]	钳子
15. 同じく (おなじく) ②	[副]	又, 同
16. 絶大 (ぜつだい) ①	[形动]	巨大, 极大
17. 見渡す (みわたす) ③	[他五]	望, 远望, 张望
18. ~損ねる (~そこねる)	[后缀]	未能..., 没成功...; 漏..., 错失...
19. 能率 (のうりつ) ①	[名]	效率
20. ~化 (~か)	[后缀]	…化
21. 役立つ (やくだてる) ④	[他下一]	使…有用, (供)使用
22. こういう ①	[连体]	这种, 这样的
23. 習熟 (しゅうじゅく) ①	[名·自サ]	熟习, 熟练
24. どういう ①	[连体]	什么样的, 怎么样的
25. ~的 (~てき)	[后缀]	关于…的; 带有…性质; …样的, …性的
26. 大いに (おおいに) ①	[副]	大大地, 很, 颇, 非常
27. 効用 (こうよう) ①	[名]	用途, 用处
28. 日々 (ひび) ①	[名]	天天, 每天
29. むしろ ①	[副]	宁可, 莫如, 与其… 倒不如…
30. 本位 (ほんい) ①	[名]	本位, 中心

■ 注 釈

WWW: (World Wide Web的省略语)万维网。



言葉の使い方

1. いわゆる

- ・彼らのいわゆる成功は意味がない。
- ・自分の両親、兄や姉のような、家の中のいわゆる目上の人に、「あなた」のような代名詞を使う人はまずいないだろう。
- ・A: うちの大学、最近またアメリカの大学と姉妹校になったんです。これで8校目ですよ。
- ・B: ああ、いわゆる「大学の国際化」というやつですね。そういうのが国際化だと思っている人が、まだたくさんいるんですねえ。

2. 見せる

- ・2時間踊った彼は、少々疲れは見せたものの楽しそうだった。
- ・人々は私たちの訴えに対して予想以上の関心を見せてくれた。
- ・久しぶりだね、たまには顔を見せてくれよ。
- ・山が間近であるため、幸いに月はまだ姿を見せていなかった。
- ・芙美子さんはニッコリ笑顔を見せると、「早く母に合格を知らせなくちゃ」と駆け出した。

3. ～込む

- ・書類には保証人の住所、氏名を書き込む欄がある。
- ・日本の社会に溶け込むことと、自分の文化を見失わないこととは両立するのだろうか。
- ・いくら聞いても、相手は黙り込んで一言も口を利かない。

4. ～そこねる／そこなう

- ・展覧会を見そこねた。
- ・電話のベルが鳴ったので、ニュースの大事なところを聞きそこねた。
- ・よけそこなって頭にボールが当たった。

5. ～化

- ・コンピュータを核にした「情報化」社会は、職場の効率化や多様化に役立つ。
- ・ベストセラー小説の映画化が最近とてもはやっている。



- ・日本人が和服を洋服に切り替えたのは、近代化された社会生活の中で必要とされたからである。

6. こたえる

- ・消費者の声にこたえ、従来より操作が簡単な製品を開発する方針だ。
- ・全校の応援団の熱い声援にこたえて、彼はついに優勝した。
- ・住民の要望にこたえて工事が行われ、道路が歩きやすくなった。

7. 大いに

- ・久しぶりに会った友人と大いに飲んで語り合った。
- ・私たちの準備が足りなかったことについては大いに反省しています。
- ・一日にレポートを3つも終わらせなければならぬので、大いに困った。

表現と文型

1. ～にいたる／～にはいたらない

- ▲名詞または活用語の連体形について、ある段階・結果・程度に到達する／到達しない意味を表す。
- ・ことここにいたっては、引き返すことなどではしない。
- ・事故で人命が失われるにいたって、ようやく安全性の調査に乗り出した。
- ・いろいろ悩んだ末に、退職して田舎で自給自足の生活をするという結論にいたった。
- ・彼は大変な努力をしたにもかかわらず、その成果を挙げるにいたらなかった。
- ・その案については会員全員の理解を得るにはいたらなかった。

2. せっかく

- ▲まれな機会や努力、苦勞、骨折りがあって、それを有効に利用するようになりたい気持ち、または有効に利用できない残念な気持ちを表す。前者は「せっかく～のだから」、「せっかく～のだったら」、後者は「せっかく～のに」という形をとることが多い。
- ・せっかくここまで努力したのだから、途中でやめないで完成させましょう。
- ・せっかく京都まで行くのだったら、奈良にも行ってみませんか。



- ・ せっかく好きなレコードを借りてきたのに、彼女は来なかった。
- ・ せっかくの休日も雨でつぶれてしまった。
- ・ A: 食事の準備がしてありますので、うちで召し上がってください。
- ・ B: それでは、せっかくですから、お言葉に甘えさせていただきます。

3. ～ままにする／なる

- ▲「動詞の過去形+まま」または「このまま」「そのまま」の形をとることが多い。「変えないで同じ状態がつづく、または同じ状態をつづける」意味。
- ・ 扇風機は止めないで回したままにしておいてください。
- ・ 人のしたいままにさせておく。
- ・ 洗たくものを干したままにして出かけたら、にわか雨ですっかりぬらしてしまった。
- ・ 火事があって以来、博物館は閉まったままになっている。
- ・ 父は急に入院したので、描きかけた絵はそのままになっている。

4. ～ないでいる

- ▲しないままの状態を保つ意味。
- ・ 歌わないでいると、「元気を出さなきゃだめじゃないの」と肩を叩かれて、しょうがなく歌った。
- ・ 雨がやまないので、家から一步も出ないでいた。
- ・ パンばかり食べて野菜を食べないでいると、病気になるよ。
- ・ しばらく新聞やテレビを見ないでいたら、世界の色々な事にうとくなった。
- ・ 包丁は長く使わないでいると、さびて切れなくなる。

5. むしろ

- ▲二つのものを比較して、一方のほうが良いという意味。「～より」、「～(ぐらい)なら」といっしょに用いることが多い。
- ・ 鳴る鐘の音よりもむしろ余韻を楽しむといった趣がある。
- ・ インターネットについては教師よりむしろ学生のほうがよく知っている。
- ・ むしろ異論があったほうがよいと考えていたところです。
- ・ 景気は回復するどころか、むしろ去年よりも悪くなってきている。
- ・ こんな高い家賃でアパートを借りるなら、むしろマンションを買ったほうが得だ。